[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	西空知広域水	道企業団負担	金		事業期間	平成	23年度 ~	— 年度				•		
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設	第7期総合計画 の位置付け	5-4-1	他に関連する 基本事業						所管課係	都市計画課管理係
	北光袋地地区の住入し給水事業を図		安定した水道水の	供給を行うため、	- 、当該地区を西空知]広域水道企業	団の給水区域に編	手段 (どのような方法で 実現するのか)		企業団の給水区域 貸与する施設の大			事業を行い、編入!	に伴うダム、浄水場等の建設に係
対象 (誰・何を対象として いるのか)	西空知広域水道企	≧業団から水道水	の供給を受けてい	る北光袋地地区。	,			成果 (どのような効果が 得られるのか)	広域的に水道事業 る。	業を実施する西空	知広域水道企業団]において行うこと	こにより、安全で	安定した水道水の供給が行われ
事業開始時の状況緯					3年11月11日から正 ニー括納付、以降、				が図られている。					

[DO]

実績

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3 次実施4カ年計	画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
	国	費計					0				0					0	0
			計上額				0				0					0	0
			責額				0				0					0	0
	道	費計					0				0					0	0
			計上額				0				0					0	0
			責額				0				0					0	0
	地方						0				0					0	0
投			計上額				0				0					0	0
			責額				0				0					0	0
入	その・	他計画					0				0					0	0
₹			計上額				0				0					0	0
			責額				0				0					0	0
れ	一般財			353, 000	348, 000	344, 000	, ,	339, 000	,	330, 000		327, 000	325, 000	324, 000	324, 000	1, 300, 000	3, 348, 000
+-			計上額	353, 000	348, 000	344, 000	1, 045, 000	339, 000	,		674, 000					0	1, 719, 000
た			責額	29, 164	24, 839	104, 008	158, 011	15, 868			15, 868					0	173, 879
事	事業費合			353, 000	348, 000	344, 000	1, 045, 000		,	330, 000	1, 003, 000	327, 000	325, 000	324, 000	324, 000	1, 300, 000	3, 348, 000
			計上額	353, 000	348, 000	344, 000	1, 045, 000		335, 000	0	674, 000	0	0	0	0	0	1, 719, 000
業		実	責額	29, 164	24, 839	104, 008	158, 011		0	0	15, 868	0	0	0	0	0	173, 879
費の	事業費予算	o l		出資金・借入利	出資金・借入利	R5分 出資金・借入利 息等		R6分 出資金・借入利 息等	R7分 出資金・借入利 息及び修繕費								
推				出咨 金負扣分等	出資金負担分等	出资全 負扣分等		出資金負担分	出資金負担分								
移	前年度予算 の比較 (増減理由)					の増減		(起債の利息)の増減	(起債の利息)の増減								
	実績との比! (増減理由)	較)		修繕費の支出な し	修繕費の支出な し	修繕費の減額 (落雷によるテ レメーターの修 繕のみ)による		修繕費の支出が なかったため									

		・評価															
		(「手段」をもとに		指標名:対象戸数			指標の求め方:-		4=*								
以 果指	標1	(「成果」をもとに	こ設定)	指標名:対象地区			指標の水の方:	K道接続戸数÷対									
				tota de trada		13 力年計画		第4年次		3 力年計画	1	m - m		3次実施4力年記		II	第 7 期 総合計画
				第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年合計	6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年合計	第7年次(9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	合計
		 活動指標 1	計画値	17				17			7	17					
	指	(単位/戸)	実績値	17	17			17									
	標	成果指標 1 (単位/%)	計画値	100	100			100	100	100)	100	100	100	100		
ŀ		事業の達成度	実績値	100	100	100	達成されている	100									
	ŀ	(活動指標をもと 事業の成果	とに評価)				-										
		(成果指標をもと 事業の効率性	とに評価)				変わらない										
		(事業費に対する	る成果)				変わらない										
		総合評価		自己分析:	自己分析:	自己分析:	良好である 判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
事	評			とにより、安 心・安全で安定 した水道水の供	とにより、安 心・安全で安定	心・安全で安定した水道水の供	とにより、制度 が行き渡ってて り事業としては 良好であると判	とにより、安 心・安全で安定 した水道水の供									
務	価内容		価の判断たは指標														
事			値に関す														
業																	
評																	
価																	
1Ш																	
		 今後の方向性					現状のまま継続										
				R5: 全戸接続したこと きているため、約		■ 安全で安定した水 える。	道水の供給がで	R8 :				R10 :					
ブ さ	方向性 女善、	きの判断理由 改革の内容															
	(R5,	R8、R10)															

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	北光袋地地区	水道料金助成	艾事業		事業期間	平成	23年度 ~ -	- 年度				•		
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	5-4-1	他に関連する 基本事業						所管課係	都市計画課管理係
目的 (何のために実施するのか)	北光袋地地区の†	世帯に対し水道料	金の一部を助成し	、砂川市内にお	- ける水道料金の格差	を解消する。		手段 (どのような方法で 実現するのか)	西空知広域水道	企業団が定める水	道料金と中空知広	基域水道企業団の 気	Eめる水道料金の	差額を助成する。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	西空知広域水道1	企業団から水道水	の供給を受けてい	る北光袋地地区・	世帯。			成果 (どのような効果が 得られるのか)	砂川市内における	る水道料金の地域	格差が解消される			
事業開始時の状況緯	・これまでの経	平成23年10月31日 助成金についてに	日からの試験通水期は半年分をまとめて	明間を経て平成2 54月、10月に対	3年11月11日から正 象世帯へ支出。対タ	式通水を実施。 象世帯数は現在	。以降、安全で安定 E、袋地地区18件の	こした水道水の供給 うち町内会館1件(が図られている。 (助成対象外) を関	, 除く17件。				

[DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3 次実施4カ年計	·画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地	方 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0
₹			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
れ	一 般	財源	計画額	240, 000	240, 000	,	720, 000	226, 000	,	226, 000		226, 000	226, 000	226, 000	226, 000	904, 000	2, 302, 000
た			予算計上額	240, 000	242, 000	,	715, 000	226, 000	226, 000		452, 000					0	1, 167, 000
12			実績額	235, 015	228, 060	221, 461	684, 536	223, 841			223, 841					0	908, 377
事	事業	費合計	計画額	240, 000	240, 000	240, 000	720, 000	226, 000	226, 000	226, 000	678, 000	226, 000	226, 000	226, 000	226, 000	904, 000	2, 302, 000
****			予算計上額	240, 000	242, 000	233, 000	715, 000	226, 000	226, 000	0	452, 000	0	0	0	0	0	1, 167, 000
業			実績額	235, 015	228, 060	221, 461	684, 536	223, 841	0	0	223, 841	0	0	0	0	0	908, 377
費の推		費予算の 内容		前年度使用実績 ×12ヶ月分	前年度使用実績 ×12ヶ月分	前年度使用実績 ×12ヶ月分		前年度使用実績 ×12ヶ月分	前年度使用実績 ×12ヶ月分								
移	の	度予算と 比較 或理由)		水道使用量の増	水道使用量の増	水道使用量の減		水道使用量の減	前年度同額								
	実績と	との比較 或理由)		見込より水道使 用量が少なかっ た 3月補正2千円	見込より水道使 用量が少なかっ た	見込より水道使 用量が少なかっ た		見込より水道使 用量が少なかっ た									

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:助成件数	指標の求め方:1年あたりの助成件数
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名:1件当たりの助成額	指標の求め方:事業費÷助成件数

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年記	十画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施 4 力年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	指	活動指標 1 (単位/件)	計画値実績値	204 204		204 204	4	204 204	204	204		204	204	204	204		
	標	成果指標 1	計画値	1, 176		1, 176		1, 176	1, 176	1, 176		1, 176	1, 176	1, 176	1, 176		
		(単位/円)	実績値	1, 152	1, 118	1, 086		1, 097									
		事業の達成度 (活動指標をも	とに評価)				達成されている										
		事業の成果 (成果指標をも	とに評価)				変わらない										
		事業の効率性 (事業費に対す	る成果)				変わらない										
		総合評価					良好である										
事務事業評価	評価内容	理由ま	『価の判断標を ではに関す	る較差解消が図	る較差解消が図	る較差解消が図	判全とがり良た ・ に に に に に に に に に に に に に	る較差解消が図	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性		DE .			現状のまま継続	DO .				D10 .					
	改善、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)		る。全戸接続によ	て、 さおり、同一市内に にり、安心、安全、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	安定した水道水	ー が図られてい の供給ができて	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	公共下水道水	質検査事業			事業期間	昭和	37年度 ~	— 年度]					
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	5-4-2	他に関連する 基本事業	_	_					所管課係	都市計画課下水道係
	公共用水域の水質 適環境都市を目指		と推定される施設が	いらの排水を採取	スし、水質を確認し <u>、</u>	公共用水域の水	質保全を図り、物質	手段 (どのよう 実現するの	な方法で	年間20箇所程度 値を超える事業所	までである できまり できまる ままま でんしょう まんしょう まんしょう まんしょう まんしょう まんしょう はいい はいい はい は	し、砂川市下水道: 知し、水質改善の:	条例に定められて 指導を行い、排出	いる排水の水質が 水質の保全に努め	確保されているかを検査し、基準 る。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内の除外施設を	所有する事業所及	及び特定事業所(タ	才象:約100 筐	ī所)			成果 (どのよう 得られるの		事業者の水質確保 し、下水道施設の				質管理を行うこと	により、管渠の腐食や閉塞を防止
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	工場・事業者の思	悪質排水による下水	道管渠の腐食や	閉塞を防止するため	か、除外施設を	有する事業所及び	《特定事業場	を対象と	して、定期的に排	水の水質検査を行	亍い、法律や条例 等	等の基準値を超える	る事業所に対し改	善指導を行っている。

[DO]

実績

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
1	1 1	計画客				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績を				0				0					0	0
ì	i i	計 画 客				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績を				0				0					0	0
対	10 方(0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
٦ ـ		実績を				0				0					0	0
入る	- o 1	也計画客				0				0					0	0
خ		予算計上額				0				0					0	0
		実績を				0				0					0	0
れ -	- 般 財 》					1, 500, 000	484, 000	000, 000	500, 000		500, 000	500, 000	500, 000	500, 000	2, 000, 000	4, 984, 000
た		予算計上額				1, 474, 000	484, 000	495, 000		979, 000					0	2, 453, 000
_		実績を				1, 331, 000	462, 000			462, 000					0	1, 793, 000
事	業費合言		*			1, 500, 000	484, 000	500, 000	500, 000	1, 484, 000	500, 000	500, 000	500, 000	500, 000	2, 000, 000	4, 984, 000
414 -		予算計上額			495, 000	1, 474, 000	484, 000	495, 000	0	979, 000	0	0	0	0	0	2, 453, 000
業 –		実績を				1, 331, 000	462, 000	0	0	462, 000	0	0	0	0	0	1, 793, 000
費			水質模食固所18 簡所	水質検査箇所19 筒所	水質模質固所15 箇所		水質模質固所15 筒所	水質検査箇所15 箇所								
_ =	事業費予算の 内容	D	E171	四 //	B171		国 //	B171								
0	内容															
推																
			検査箇所の減	水質分析項目の	検査の1箇所あ		検査の1箇所あ	検査の1箇所あ								
移	前年度予算る	L		変更による減	たりの単価の上		たりの単価の変	たりの単価の上								
В	の比較				昇		更	昇								
	(増減理由)															
			見積合わせによ	見積合わせによ	見積合わせによ		見積合わせによ									
	€績との比輔	交	る減 3月補正	る減 3月補正	る減 3月補正		る減 3月補正									
	(増減理由)		△49千円	△39千円	△55千円		△22千円									

指標	の推権	多・評価																
活動	指標 1	1 (「手段」	」をもとに設定)	1	指標名:水質検査	查 箇所数		指標の求め方:オ	く質検査実施事業層	听数								
成果	指標 1	1 (「成果」	」をもとに設定)		指標名:基準値内	内事業所数		指標の求め方:当	á該年度に調査した	た事業所のうち、	基準値内の水質で	排水している事業	手所数					
						第1次実施	3 カ年計画	-		第2次実施	3カ年計画			复	第3次実施4カ年記	計画		第 7 期
					第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
	指	活動指標 (単位/			20 18		20 15		20 15	L	20		2	20	0 20	20		
	標	成果指標			15		4		16		16		1	7 17	7 17	7 17		
		(単位/事業の選		責値	14	14	14		10									
		(活動指	標をもとに評	価)				ほぼ達成されている										
			標をもとに評	価)				変わらない										
		事業の交 (事業費	物率性 に対する成果))				変わらない										
		総合評価	<u> </u>					良好である										
事務事業評価	評価内容		総合評価のは 理由まを値に と る自己分析	判指	質について下水 道条例に示することでいる。 準をで、公は、 とで、保全が、保全が、 はるのので、 とも継続的な水	質について下水基 道条管、公はではませいでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	質について下水基 道条管、公式ですることでの保全で、保全での保全で、 域の保全で、大なの保全で、大なの保全で、大なの様に、 とも継続的な水とも	<i>t</i> -。	質道準と域れまに値をまった。 水基こ水た 標標にををでのるたおいまから がったい さんじん はいばれる はいばれる はいばん はいばん はいばん はいばん はいばん はいばん はいばん はいばん	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後のカ	 5向性					現状のまま継続										
				Ī	R5:	- 弘本 <i>的</i>	り歩ナスーリルー		R8 :				R10 :					
	改善	性の判断i 、改革のi 、R8、R10	内容			≂計画的に検査を写 ら必要な事業である		り良好な環境衛生 していく。										

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 O

事 業 名	公共下水道ス	-ックマネジメン	ント計画策定及び	「推進事業	事業期間	令和:	3 年度 ~	令和	112年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	5-4-2	他に関連す 基本事業	-る						所管課係	都市計画課下水道係
目的 (何のために実施するのか)	ら、点検・調査	・修繕・改築事業を		下水道施設を討				水道 (手段 (どのような方法で 実現するのか)	下水道施設のスト 検・調査・修繕・	・ックを将来にわた 改築のPDCA+	たって適切に維持な サイクルを実施する	管理していく必要; る。	があり、そのため	の手法として本計画を策定し、点
対象 (誰・何を対象として いるのか)	下水道施設全体。							((どのような効果が	下水道施設全体の ろう老朽施設対策 なお、本計画を策	において、計画的	な事業を行うこと	こより、事業費の平	準化を図ることか	
事業開始時の状況緯	・これまでの経	ラとして持続可能 重要であるため、 なお、当事業の	な事業運営に取り 下水道施設全体の 実施にあたり、旧	組むこととされて 管理を最適化する 計画である「公共	いる。このことから ため、ストックマネ	下水道施設のラ ・ジメント計画を 事業」、「公共	ライフサイクル を策定した。 も下水道管路調	コストの	D低減化や、予防化 を統合し、今後均	呆全型施設管理(長 曽大する下水道施設	長寿命化事業)に と改築需要に対応す	より適切な維持・修 ドベく、下水道施設	繕および改築を行	い、良質な下水道 ネジメント計画を	中では欠かすことのできないインフ サービスを持続的に提供することが よる、点検・調査から修繕・改築に

[DO]

実績

					第1次実施	E3カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費	計画額	7, 000, 000	20, 000, 000		38, 000, 000	15, 500, 000	16, 000, 000	23, 000, 000	54, 500, 000	29, 000, 000	18, 000, 000	20, 000, 000	9, 000, 000	76, 000, 000	168, 500, 000
		_	予算計上額	7, 000, 000	3, 500, 000		26, 200, 000	13, 700, 000	5, 000, 000		18, 700, 000					0	44, 900, 000
			実績額	6, 134, 000	3, 250, 000	10, 990, 000	20, 374, 000	15, 615, 000			15, 615, 000					0	35, 989, 000
	道	費_	計画額				0				0					0	0
		_	予算計上額				0				0					0	0
		-	実績額				0				0					0	0
	地 方	賃_	計画額	18, 000, 000			45, 900, 000	11, 500, 000	11, 700, 000	11, 700, 000	34, 900, 000	26, 100, 000	16, 200, 000	18, 000, 000	8, 100, 000	68, 400, 000	149, 200, 000
投		_	予算計上額	19, 000, 000	3, 400, 000		37, 400, 000	15, 600, 000	400, 000		16, 000, 000					0	53, 400, 000
12			実績額	17, 400, 000	3, 200, 000	13, 000, 000	33, 600, 000	13, 400, 000			13, 400, 000					0	47, 000, 000
入	その	他_	計画額			ļI	0				0					0	0
+		_	予算計上額	1, 000, 000	,		1, 350, 000				0					0	1, 350, 000
2	40. 0	l ver	実績額	0	27, 000		27, 000	4 000 000			0					0	27, 000
れ	一般財	7 源 _	計画額	10, 100, 000	3, 100, 000		15, 400, 000	4, 000, 000	4, 300, 000	11, 300, 000	19, 600, 000	4, 000, 000	2, 900, 000	3, 100, 000	2, 000, 000	12, 000, 000	47, 000, 000
		_	予算計上額	7, 000, 000	205, 000		7, 605, 000	3, 100, 000	4, 600, 000		7, 700, 000					0	15, 305, 000
た		A 51	実績額	8, 036, 000	24, 000		10, 734, 000	2, 214, 000			2, 214, 000					0	12, 948, 000
事	事業費1	台計	計画額	35, 100, 000	41, 100, 000	23, 100, 000	99, 300, 000	31, 000, 000	32, 000, 000	46, 000, 000	109, 000, 000	59, 100, 000	37, 100, 000	41, 100, 000	19, 100, 000	156, 400, 000	364, 700, 000
7		_	予算計上額	34, 000, 000	7, 455, 000		72, 555, 000	32, 400, 000	10, 000, 000	0	42, 400, 000	0	0	0	0	0	114, 955, 000
業			実 績 額	31, 570, 000	6, 501, 000	26, 664, 000	64, 735, 000	31, 229, 000	()	0	31, 229, 000	0	0	0	0	0	95, 964, 000
費の推	事業費予 内容			ント計画策定委託 及び管渠改築工事 1箇所	プ改築実施設計 委託及び公共下 水道管渠点検委 託	ルポンプ改築工 事、公共下水道施 設資材単価調査業 務委託、公共下水 道管渠点検委託		ルポン立場に対している。 本のでは、大学などのでは、大学などのでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	公共下水道施設 資材単価調査業 務委託、公共下 水道管渠点検委 託								
移	前年度予 の比較 (増減理	交		く増加	事業規模による減少	事業計画に基づく増加		く増加	事業規模による減少								
	実績との (増減理			入札による減 3月補正 △1,630千円	入札による減 3月補正 △499千円	入札による減 3月補正 △229千円		入札等による減 △1,171千円									

指標	!の推荐	多・評価															
活動	指標 7	1 (「手段」	」をもとに設定)	指標名:改築更新	新設備数		指標の求め方:更	新・更正等を行	う設備数								
成果	指標	1 (「成果」	」をもとに設定)	指標名:改築更新	新対象施設整備率		指標の求め方:改	文築実施箇所数/ご	改築計画箇所数×	100							
					第1次実施	103 力年計画	-		第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4力年計	画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	指	活動指標 (単位/				-{		1. 0 1. 0		1. 0		1.0	1.0	1.0	1.0		
	標	成果指標(単位/				27.3		36. 4 27. 3	10. 0	54. 5		72. 7	81.8	90. 9	100. 0		
		事業の遺	達成度	9.1	9.1	10. 2	ほぼ達成されている	21.3									
		事業の原					変わらない										
		事業の交					少し上がっている										
		総合評価	に対する成果) 				良好である										
事務事業評価	評価内容			アーリー では、	マンな行を以下では、大学には、大学に、大学に、なったでは、大学に、大学に、大学に、大学に、大学に、大学に、大学に、大学に、大学に、大学に	光1号マンホールポンプ所の改築 工事を行った。 また、公共下水 道管渠点検を継 続的に行い管渠	判断和3年に、スタットでは、1年の1年に、スタットに、スタットの1年の1年の1年の1年の1年の1年の1年の1年の1年の1年の1年の1年の1年の	ルボンブ所の改 築工事を行っ た。 また、空知太中	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後のカ	5向性				現状のまま継続										
				R5:今後増大する。 本・終経・お笠の	るであろう老朽化	した下水道施設に	■ 対して、点検・調 ためには、★計画	R8 :				R10 :				1	
	改善	性の判断: 、改革のI 、R8、R10	内容	に基づき優先順位	PDCAサイクル 位を把握しながらす 確保に努めるためI	事業を行うことが	求められる。交付										

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 O

事業名	公共下水道整	備事業(汚水	:)		事業期間	昭和	54年度 ~ _	- 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設	第7期総合計画 の位置付け	5-4-2	他に関連する 基本事業			1			所管課係	都市計画課下水道係
目的 (何のために実施するのか)			会基盤施設であり、 舌環境及び公衆衛生		⊋市民生活を支える:	ライフラインで	あるため、地域の	手段 (どのような方法で 実現するのか)	道路事業、河川事	§業等の他事業及び	び土地利用計画等	との整合を図りな	がら管渠整備を行	ō.
対象 (誰・何を対象として いるのか)	下水道計画区域内	の住民及び居住理	景境 。									、市街地やその周: な都市環境につな!		竟の改善および公衆衛生の向上、
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	昭和54年から、河	可川等公共用水域の	水質汚濁防止と	市街地における生活	舌環境の改善及で	害に対処するため	、下水道の整備を	市街中心部より剤	手し、計画区域の	内の汚水管及び雨れ	大管の整備を進めて	こきている 。	

[DO]

実績

					第1次実施	103カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費	計画額	2, 500, 000		4, 000, 000	6, 500, 000			4, 000, 000	4, 000, 000	4, 000, 000	4, 000, 000	4, 000, 000	3, 400, 000	15, 400, 000	25, 900, 000
			予算計上額	2, 500, 000			2, 500, 000	0	7, 500, 000		7, 500, 000					0	10, 000, 000
			実績額	2, 365, 000		0	2, 365, 000	0			0					0	2, 365, 000
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地 方	債	計画額			3, 600, 000	3, 600, 000				0	3, 600, 000	3, 600, 000	3, 600, 000	3, 000, 000	13, 800, 000	17, 400, 000
投			予算計上額				0	0	7, 400, 000		7, 400, 000					0	7, 400, 000
			実績額			0	0	0			0					0	0
入	その	他	計画額				0				0					0	0
ŧ			予算計上額				0				0					0	0
			実績額			0	0				0					0	0
れ	一般則	才 源_	計画額	2, 500, 000		400, 000	, ,			4, 000, 000	4, 000, 000	400, 000	400, 000	400, 000	400, 000	1, 600, 000	8, 500, 000
+-			予算計上額	2, 500, 000			2, 500, 000	0	100, 000		100, 000					0	2, 600, 000
た			実績額	2, 365, 000		0	2, 365, 000	0			0					0	2, 365, 000
事	事業費	合計	計画額	5, 000, 000	C	8, 000, 000	13, 000, 000	0	0	8, 000, 000	8, 000, 000	8, 000, 000	8, 000, 000	8, 000, 000	6, 800, 000	30, 800, 000	51, 800, 000
			予算計上額	5, 000, 000	C	0	5, 000, 000	0	15, 000, 000	0	15, 000, 000	0	0	0	0	0	20, 000, 000
業			実績額	4, 730, 000	C	0	4, 730, 000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4, 730, 000
費の	事業費予 内容	算の		公共下水道事業 計画変更委託	事業なし	事業なし		事業なし	公共下水道管路 測量業務委託、 公共下水道管路 実施設計業務委 託								
移	前年度予の比較	詨		管渠移設工事未 実施による減	事業なし	事業なし		<u>事業なし</u>	汚水管新設に伴 う測量・設計委 託業務の増								
	(増減理 実績との (増減理	比較		入札による滅	事業なし	事業なし		事業なし									

_	*****																
			をもとに設定)	指標名:整備面積				5水管渠整備に伴		区域面積							
成	果指標 1	1 (「成果」	をもとに設定)	指標名:公共下左	K道汚水整備率		指標の求め方:	整備面積/認可面積	責×100								
					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	63カ年計画			第	3次実施4カ年記	計画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標		0.00	L	0.00		0. 84	0. 84	0. 00		0.00	0. 00	0. 00	0. 45		
	指	(単位/ト	八根框	0.00		0.00		0. 00									
	標	成果指標		78. 7	78. 7	78. 8		78. 8	78. 9	78. 9		78. 9	78. 9	78. 9	79. 0		
	_	(単位/9	八根區	78. 7	79. 3	79. 3		79. 3									
		事業の達	E队度 標をもとに評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成															
			標をもとに評価)				変わらない										
		事業の対					変わらない										
			に対する成果)														
		総合評価	li .				良好である										
				自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由: 汚水管渠の整備	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
				実施しなかった	ないが、今後と	土地利用がなく	については、普	土地利用がなく									
				が、事業計画変	も地先要望や土	事業実施はない	及率、水洗化率	事業実施はない									
				更策定を行って おり 今後とも	地利用状況を勘 案しながら事業												
				地先要望や土地	を継続していく。	状況を勘案しな	が伸びていない	状況を勘案しな									
				利用状況を勘案	また、成果指標	がら事業を継続	理由は区域内の	がら事業を継続									
事				しながら事業を 継続していく。	が増加した理由	していく。	未開発によるものである	していく。									
	評			*************************************	見直しを行った		のである。 整備は状況に応										
務	一個				ことで認可面積		じて実施するも										
323	容				が縮小されたた		のであるため、										
	-		総合評価の判断理由または指標		めである。		評価については 良好と判断し										
事			の実績値に関す				た。										
			る自己分析														
業																	
言乎																	
рт																	
価																	
		今後の方	向性				現状のまま継続										
				R5 :			1	R8 :				R10 :				<u> </u>	
							こついても交付金					1					
					舌用することで財活 と善に繋がってお		る。普及率向上に	1				1					
							の開発状況を見極										
					こ見直す必要があ			1				1					
	方向'	性の判断理	里由									1					
		、改革のP 、R8、R10						1				1					
	(RD)	, no, RIU	,,									1					
				I				1				1					
								1				1					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

事務事業の目的と!	成果										総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	O	
事 業 名	流域下水道整	養備事業			事業期間	昭和	160年度 ~ —	- 年度							_
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設	第7期総合計画 の位置付け	5-4-2	他に関連する 基本事業						所管課係	都市計画	課管理係
(何のために実施する		道から流れ出る汚					発備事業により関連 きの運営及び快適な	手段 (どのような方法で 実現するのか)	終末処理場建設費	費及び流域幹線管	渠・ポンプ場等の	建設に係る費用を	と北海道及び関連市	市町で負担する。	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	公共下水道使用者	者及びし尿処理施	設使用者。					成果 (どのような効果が 得られるのか)	運営が図られると	ともに、汚水処	理経費の軽減が図	られる。	K処理をすることに L理施設の設備投資		
事業開始時の状況緯	て・これまじの絵	本市の流域関連	公共下水道事業計	画は、昭和54年に	第1期事業計画に非	盲手し、幾度か	下水道事業計画が策 いの変更を経て現在に で処理され石狩川へ	こ至っている。	に石狩川流域下水	道事業が開始さ	れた。				

[DO]

実績

						第 1 次実施	3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画合計
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	
	国	3		計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実 績 額				0				0					0	0
	道	3		計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実 績 額				0				0					0	0
	地	方(計画額	12, 900, 000				35, 600, 000	00, 000, 000	35, 600, 000	106, 800, 000	35, 600, 000	35, 600, 000	35, 600, 000	35, 600, 000	142, 400, 000	287, 900, 000
投				予算計上額	12, 900, 000	17, 400, 000	28, 700, 000	59, 000, 000	40, 100, 000	,,		96, 900, 000					0	155, 900, 000
				実績額	3, 100, 000	10, 100, 000	10, 400, 000	23, 600, 000	15, 600, 000			15, 600, 000					0	39, 200, 000
入	そ	の ff	他	計画額				0				0					0	0
≥				予算計上額				0				0					0	0
_				実 績 額				0				0					0	0
れ	— 角	殳 財 测	源	計画額	2, 011, 000	2, 011, 000	2, 011, 000	6, 033, 000	3, 959, 000	3, 959, 000	3, 959, 000	11, 877, 000	3, 959, 000	3, 959, 000	3, 959, 000	3, 959, 000	15, 836, 000	33, 746, 000
				予算計上額	3, 271, 000	3, 677, 000	3, 632, 000	10, 580, 000	4, 004, 000	4, 374, 000		8, 378, 000					0	18, 958, 000
た				実 績 額	2, 898, 235	2, 995, 292	3, 677, 615	9, 571, 142	3, 838, 274			3, 838, 274					0	13, 409, 416
車	事業	費合言	計	計 画 額	14, 911, 000	14, 911, 000	14, 911, 000	44, 733, 000	39, 559, 000	39, 559, 000	39, 559, 000	118, 677, 000	39, 559, 000	39, 559, 000	39, 559, 000	39, 559, 000	158, 236, 000	321, 646, 000
7				予算計上額	16, 171, 000	21, 077, 000	32, 332, 000	69, 580, 000	44, 104, 000	61, 174, 000	0	105, 278, 000	0	0	0	0	0	174, 858, 000
業				実 績 額	5, 998, 235	13, 095, 292	14, 077, 615	33, 171, 142	19, 438, 274	0	0	19, 438, 274	0	0	0	0	0	52, 609, 416
費の推		費予算 <i>0</i> 内容	න		る流域下水道整	北海道が施工す る流域下水道整 備事業に対する 負担金	る流域下水道整			北海道が施工す る流域下水道整 備事業に対する 負担金								
移	σ.	度予算 &)比較 減理由)			事業量の増による	事業量の増による	事業量の増による		び前年に行えなかった事業の繰	事業量の増加及 び前年に行えな かった事業の繰 越分により増加								
		との比輔 減理由)			事業量の減 一部を次年度に 繰越	事業量の減 一部を次年度に繰 越。前年の繰越分 は資材不足による 工事の規模滅によ り不使用	回ったため予定し		一部を次年度に繰越。国からの補助金が予算額を下回ったため予定した工事数に満たず減額となった									

拼	標の排	移・評価	ħ .														
汨	動指標	1 (「手	没」をもとに設定)	指標名:流域下	水道建設事業費		指標の求め方:-	_									
反	は果指標	1 (「成!	果」をもとに設定)	指標名:水洗化型	率		指標の求め方:フ	k洗化人口÷下水	道処理人口								
					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		活動指	/			480, 840		480, 840	,	480, 840)	480, 840	480, 840	480, 840	480, 840		
	指標		(左/千円) 実績値 (標 1 計画値		276, 594 98. 5	1, 012, 320 98. 6		1, 711, 745 98. 6	98. 7	98. 7		98.8	98. 8	98. 9	98. 9		
	1/2	成果指 (単位	1 1/1		98. 7	98. 8		98.8	30. 7	30. 1		90.0	30.0	30. 3	30. 3		
)達成度 指標をもとに評価)				達成されている										
		事業の (成果)成果 指標をもとに評価)				変わらない										
)効率性 費に対する成果)				変わらない										
		総合評					良好である										
	事務事業評価		総合評価の判 関 地由または指 の実績値に関 る自己分析	ー括処理する減空を とが図られ事が が下水道営に 製が でいる。	ー括処理するこ とで経費削減等 が図られ安定的 な下水道事業の	ー括処理するこ とで経費削減等 が図られ安定的 な下水道事業の	が見込まれる が、資材価格の	一括処理するこ とで経費削減定 が図られ安事的 な下水道事業の 運営に繋がって	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の)方向性				現状のまま継続										
	改割	可性の判 き、改革(5、R8、F	新理由 の内容	計画的・継続的なにばらつきが目がいくものと考えば	より工事数は増え は工事をすること なエ本きうになった方 を減されている。 経滅されており、 のである。	が困難となり、年 が、今後基本的に 水を広域的に一括	不足等が原因で 度ごとの事業費 は費用は増えて 処理することで	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	水洗化促進事	業			事業期間	昭和	60年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	5-4-3	他に関連する 基本事業						所管課係	都市計画課管理係
	貸付を行い、経済	筝的負担緩和を図			- 共下水道接続を促進 民の環境衛生の向上			(どのような方法で	また、下水道法	こおいて水洗便所	に改造する者に対			があることから、50万円を限度に
対象 (誰・何を対象として いるのか)	のか) 下水道経営の健全化を図る。													
事業開始時の状況 緯	・これまでの程	を図ってきた。			、洗便所は欠くこと 水洗化改造費の増					寸制度を創設し、イ	供用開始後3年以	内に改造する者は	無利子とすること	とで公共下水道への早期切替の促進

[DO]

実績

(単位:円) 第 7 期 総合計画

						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国		費	計 画 額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実 績 額				0				0					0	0
	道		費	計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
	地	方 '	債	計画額				0				0					0	0
投				予算計上額				0				0					0	0
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				実 績 額				0				0					0	0
入	そ	0	他	計画額	500, 000	500, 000	500, 000	1, 500, 000	500, 000	500, 000	500, 000	1, 500, 000	500, 000	500, 000	500, 000	500, 000	2, 000, 000	5, 000, 000
≥				予算計上額	500, 000	500, 000	500, 000	1, 500, 000	500, 000	500, 000		1, 000, 000					0	2, 500, 000
-				実 績 額	0	0	0	0	0			0					0	0
れ	- 1	般 財	源	計画額	1, 000	1,000	1,000	3, 000	1, 000	1, 000	1, 000	3, 000	1, 000	1, 000	1, 000	1, 000	4, 000	10, 000
				予算計上額	1, 000	1,000	1,000	3, 000	1, 000	1, 000		2, 000					0	5, 000
た				実 績 額	0	0	0	0	0			0					0	0
事	事業	養合	計	計画額	501, 000	501, 000	501, 000	1, 503, 000	501, 000	501, 000	501, 000	1, 503, 000	501, 000	501, 000	501, 000	501, 000	2, 004, 000	5, 010, 000
				予算計上額	501, 000	501, 000	501, 000	1, 503, 000	501, 000	501, 000	0	1, 002, 000	0	0	0	0	0	2, 505, 000
業				実 績 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費					50万円/1基及び	50万円/1基及び	50万円/1基及び		50万円/1基及び	50万円/1基及び								
具		費予算			振込手数料1千	振込手数料1十 円	振込手数料1千 円		振込手数料I十 四	振込手数料1千								
の		内容	اره		' '	' '	1 1		1 1	''								
144																		
推			_		***	***	*		***	***								
移					前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額								
	前年	度予算 の比較	٤															
		が比較い減理由)															
	\	шж- <u>т</u> ш.	^															
					1基分の予算に	1基分の予算に	1基分の予算に		1基分の予算に									
	ch /±		++				対し実績なし		対し実績なし									
	美額	との比	蚁)															
	1	#Х~ТШ.	'															
					l													

Ħ	標の	推移	・評価															
7	動指	標 1	(「手段」を	もとに設定)	指標名:水洗化。	人口普及増加分		指標の求め方:-	_									
F	以果指	標 1	(「成果」を	もとに設定)	指標名:水洗化基	率		指標の求め方:オ	k洗化人口÷下水	道処理人口								
						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年記	計画		第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
			活動指標 1	計画値	8	8	8		8	8	8	3	8	8	8	8		
		指標	(単位/人)	実績値 計画値	98.5	98.5	98. 6		98. 6	98. 7	98. 7		98. 8	98. 8	98. 9	98. 9		
			成果指標 1 (単位/%)	L	98. 7	98. 7	98. 8		98.8	30. 7	90. 1		30.0	90. 0	30. 3	30. 9		
			事業の達成 (活動指標を					ほぼ達成されている										
			事業の成果 (成果指標を	きもとに評価)				変わらない										
			事業の効率	性 対する成果)				変わらない										
		Ī	総合評価					良好である										
	務	評価内容	理りの	合評価の判断 由または指標 実績値に関す 自己分析	し。衛生環境向 上のためにも引き続き未普及世 帯へ水洗化工事 に対する融資の	対し貸付実績なし。衛生環境の 上のたまでは き続き未に及せ 帯へ水洗化工事 に対する融資の	し。衛生環境向 上のためにも引き続き未普及世 帯へ水洗化工事 に対する融資の	判成で ・ ・ で ・ に に に は に に は に に は に に は に れ に に れ に れ に に れ に れ に れ に に に れ に に に れ に に に れ に に に に に に に に に に に に に	対し貨情生環境なりとのため、大きには、大きには、大きには、大きにも、大きにも、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
			今後の方向	性				現状のまま継続										
	정	善、	Eの判断理由 改革の内容 R8、R10)		る。水洗化が進ん	■ 一部を融資する本 んだことにより制 業者等と連携した	度の利用件数は現	後も必要と考え 状少なくなって	R8 :				R10 :				1	

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	個別排水処理	施設促進事業	ŧ		事業期間	平成	8年度 ~ -	- 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	5-4-3	他に関連する 基本事業						所管課係	都市計画課管理係
目的 (何のために実施するのか)	公共下水道事業 行い、個別排水が	十画処理区域外の 処理施設による水	生活環境の改善及 洗化を促進し地域	び公共用水域の住民の環境衛生	- 水質保全に資するた の向上を図る。	:め、水洗便所	改造資金の貸付を	手段 (どのような方法で 実現するのか)	ホームページでの施設を設置し水流	のPR、戸別訪問に 洗トイレに改造す	よる処理施設の記 る場合は、改造資	设置及び水洗化の音 資金として50万円を	音及活動。 と限度に無利子貸(寸を行う。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	公共下水道事業	計画処理区域外の	世帯。					成果 (どのような効果が 得られるのか)	改造資金の無利- 保全及び生活衛	子貸付を行うこと 生環境が向上する	により経済的負担 。	旦が緩和され水洗化	との促進が図られ	ることにより、公共用水域の水質
事業開始時の状況緯			区域外における河川 ては無利子、50回」			境の改善に合作	ことのできない施	 設であり、平成8	3年度の個別排水処		の開始と同時に貸	 付制度を創設し普	及促進を図ってきた。	

[DO]

実績

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3 次実施4カ年計	·画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地	方 債					0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額	500, 000	500, 000			500, 000	000,000	500, 000	1, 500, 000	500, 000	500, 000	500, 000	500, 000	2, 000, 000	5, 000, 000
≥			予算計上額	500, 000	500, 000	500, 000	1, 500, 000	500, 000	500, 000		1, 000, 000					0	2, 500, 000
			実 績 額	0	0	0	0	0			0					0	0
れ	- #	般 財源	計画額	1, 000	1, 000			1, 000	.,,	1, 000		1, 000	1, 000	1, 000	1, 000	4, 000	10, 000
			予算計上額	1, 000	1, 000	1, 000	3, 000	1, 000	1, 000		2, 000					0	5, 000
た			実績額	330	0	0	330	0			0					0	330
事	事 業	美費 合計		501, 000	501, 000	501, 000	1, 503, 000	501, 000	501, 000	501, 000	1, 503, 000	501, 000	501, 000	501, 000	501, 000	2, 004, 000	5, 010, 000
			予算計上額	501, 000	501, 000	501, 000	1, 503, 000	501, 000	501, 000	0	1, 002, 000	0	0	0	0	0	2, 505, 000
業			実績額	330	0	0	330	0	0	0	0	0	0	0	0	0	330
費の推		費予算の 内容		び振込手数料1		500千円/1基及 び振込手数料1 千円		500千円/1基及 び振込手数料1 千円	500千円/1基及 び振込手数料1 千円								
移	0	度予算と の比較 減理由)		前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額								
	実績(増	との比較 減理由)		1基分の予算に 対し貸付実績な し				1基分の予算に 対し貸付実績な し									

活動指標1(「手段」をもとに設定) 指標名:合併処理浄化槽年間設置基数 指標の求め方:年間に設置した基数																		
				指標名:合併処理	理浄化槽年間設置	基数												
成果指標1(「成果」をもとに設定)				指標名:合併処理	理浄化槽整備率		指標の求め方:台	合併処理浄化槽使	用人口÷下水道計	画区域外人口								
				第 1 次実施 3 力年計画					第2次実施	3 カ年計画			^~ ¬ ₩					
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	3次実施4力年記 第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期 総合計画	
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	会 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合計	合計	
		活動指標	1 計画値	10	1 1 1 1 1 1 1 1	, , , , , , ,		10	10			10		10				
	指	(単位/基		1	0	1		1										
	標	成果指標		54. 3	54. 7	55. 1		55. 5	55. 9	56. 3	3	56. 7	57. 1	57. 5	57. 9			
		(単位/%		50. 2	.4	50, 6		51.0				-						
		事業の達用	成度															
		(活動指標	栗をもとに評価)				あまり達成されていない											
		事業の成果					少し上がっている											
			腰をもとに評価)				3 0 ± % 3 € 0 · 0											
		事業の効果					変わらない											
			対する成果)													 		
		総合評価					普通である						. =					
				自己分析: 1基設置した	自己分析:対象区域がほぼ	自己分析:	判断理由: 対象区域がほぼ	自己分析: 会任使什1 其訟	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:		
				が、貸付実績な	農村地域であ	置したものの、	農村地域であ	置したものの、										
				し。衛生環境向	り、高齢化や家	貸付の実績はな	り、高齢化や家	貸付の実績はな										
				上のためにも引き結ちま	屋の老朽化の進	し。対象区域が	屋の老朽化の進 行等により、年	し。対象区域が										
							間設置基数は鈍											
				要あり。	化している。し	家屋の老朽化の	化している。成	家屋の老朽化の										
事					かし衛生環境向	進行等により、	果指標の伸びは 人口減による影	進行等により、										
	評						大口減による影響もあるが、対											
務	価内				帯へのPRの必	衛生環境向上の	象地区の人口減	衛生環境向上の										
121	容				要あり。	ため、更なる未	を考慮すれば、	ため、引き続き										
			総合評価の判断			設置世帯へのP	事業についての 評価は普通であ	未設置世帯への										
事		理由または指標 の実績値に関す る自己分析				る。		く。 く。										
							る。											
業																		
評																		
価																		
							ļ				ļ							
		今後の方「	向性				現状のまま継続				I							
				R5 :			= =	R8 :				R10 :						
						総合評価は良好と						1						
						ためにこの活動は 付制度も含めた普												
				め、合併処理浄化	化槽の利用促進に	繋げる。												
						の計画区域につい												
		生の判断理	: Ш		台を図りなから、 要があると考えら	市内の開発状況を れる。	元型の、週別な					1						
	(R5	改革の内 R8、R10)	谷		z~ w w c -3/20	.1 = 0 0												
	(110,	NO. 1(10)		l								1						
				l								1						
				l								1						

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 〇

事 業 名	個別排水処理	!施設整備事業	ŧ		事業期間 平成8年度 ~ — 年度								1	<u> </u>		
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	5-4-3	他に関連する 基本事業						所管課係	都市計画課管理係		
目的 (何のために実施するのか)	公共下水道計画図	⊠域外の個人住宅	に合併処理浄化槽	(個別排水処理)	施設)を設置し、か	、洗化を促進する	3 .	手段 (どのような方法で 実現するのか)	普及活動を行うとともに、設置希望者からの申請に基づき、市が合併処理浄化槽を設置し管理を行う。 申請者からは、設置費用の一部として工事費の10%相当額の分担金と、維持管理にかかる費用等として、公共下水道と 同様に水道使用水量により個別排水処理施設使用料を徴収する。							
対象 (誰・何を対象として いるのか)	公共下水道計画図	区域外の個人住宅	の世帯。					成果 (どのような効果が 得られるのか)	合併処理浄化槽を設置し生活排水が適正に処理排出されることにより、公共用水域の水質保全と生活環境が改善され、 地域格差のない快適な生活環境が確保される。							
事業開始時の状況 緯	事業開始時の状況・これまでの経 平成7年度に生活排水処理基本計画が定められ、平成8年度から河川等公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図る事を目的に、公共下水道計画区域外の個人住宅の世帯を対象として合併処理浄化槽の整備を開始した。															

[DO]

実績

						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第 7 期				
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国		費	計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
	道		費	計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
	地	方	债	計画額	12, 200, 000	12, 200, 000	12, 200, 000	36, 600, 000	13, 500, 000	13, 500, 000	13, 500, 000	40, 500, 000	13, 500, 000	13, 500, 000	13, 500, 000	13, 500, 000	54, 000, 000	131, 100, 000
投				予算計上額	12, 000, 000	12, 200, 000	, ,	37, 000, 000	13, 400, 000	14, 300, 000		27, 700, 000					0	64, 700, 000
				実 績 額	1, 100, 000	0	1, 100, 000	2, 200, 000	1, 100, 000			1, 100, 000					0	3, 300, 000
入	そ	の	他	計画額	1, 300, 000	1, 300, 000		3, 900, 000	1, 510, 000	1, 510, 000	1, 510, 000		1, 510, 000	1, 510, 000	1, 510, 000	1, 510, 000	6, 040, 000	14, 470, 000
₹				予算計上額	1, 358, 000	1, 358, 000		4, 157, 000	1, 510, 000	1, 613, 000		3, 123, 000					0	7, 280, 000
,				実 績 額	300, 000	0	134, 200	434, 200	45, 480			45, 480					0	479, 680
れ	— f	段 財	源	計画額	80, 000	80, 000		240, 000	93, 000	00,000	93, 000		93, 000	93, 000	93, 000	93, 000	372, 000	891, 000
た				予算計上額	227, 000	122, 000		518, 000	193, 000	213, 000		406, 000					0	924, 000
12				実 績 額	63, 000	0	107, 800	170, 800	284, 520			284, 520					0	455, 320
事	事業	費合	計	計画額	13, 580, 000	13, 580, 000	13, 580, 000	40, 740, 000	15, 103, 000	15, 103, 000	15, 103, 000	45, 309, 000	15, 103, 000	15, 103, 000	15, 103, 000	15, 103, 000	60, 412, 000	146, 461, 000
				予算計上額	13, 585, 000	13, 680, 000	14, 410, 000	41, 675, 000	15, 103, 000	16, 126, 000	0	31, 229, 000	0	0	0	0	0	72, 904, 000
業				実績額	1, 463, 000	0	1, 342, 000	2, 805, 000		0	0	1, 430, 000	0	0	0	0	0	4, 235, 000
費						設の設置工事	設の設置工事		個別排水処理施 設の設置工事	設の設置工事								
o o		費予算 内容	の				5人槽→7基 7人槽→3基			5人槽→7基 7人槽→3基								
• • •		四台			/八恒 /0巫	7八佰 70至	7八佰 70墨		7八個 70墨	7八怕 70巫								
推																		
移						1基あたりのエ 事費の増	1基あたりのエ 事費の増		1基あたりのエ 事費の増	1基あたりのエ 事費の増								
,,		度予算 の比較	٤		事員の塩	学員の 培	事員の塩		争員の垣	争員の塩								
		減理由	1)															
					10基分の予算に 対し1基の設置	10基分の予算に対し、実績なし、	10基分の予算に 対し1基の設置		10基分の予算に 対し1基の設置									
		との比			3月補正	3月補正	3月補正		ハ コー全の 民国						l			
	(増	減理由)		△10,415千円	△11,960千円	△11,228千円											

781	乗り推	多・評価																	
活	動指標	1 (「手段」をも	とに設定)	指標名:合併処理	里浄化槽年間設置	基数	指標の求め方:年間に設置した基数												
成果指標1(「成果」をもとに設定)			とに設定)	指標名:合併処理	里浄化槽整備率		指標の求め方:台	合併処理浄化槽使	用人口/下水道計	画区域外人口									
					第1次実施	3 力年計画	第2次実施3カ年計画						第3次実施4力年計画						
第1年次(3年度)					第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期 総合計画 合 計		
	(0+12)				合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計					
	指	活動指標 1 (単位/基)	計画他 実績値	10	10	10		10	10	10		10	10	10	10				
	標	成果指標 1	計画値	54. 3	54. 7	55. 1		55. 5	55. 9	56. 3		56. 7	57. 1	57. 5	57. 9				
		(単位/%)	実績値	50. 2	50. 2	50. 6		51.0											
		事業の達成度 (活動指標を					ほぼ達成されている												
		事業の成果 (成果指標を	もとに評価)				少し上がっている												
		事業の効率性					変わらない												
		総合評価	<i>,</i> • 122, 127				普通である									-			
事務事業罰価	評価内容	総理のの	評価の判断 または指標 値に関す 己分析	農村地域であり屋が高齢化の容をある。 をいましている。 である。 である。 である。 である。	農村 り屋行 を を を を を に 置 で に 置 で り に 置 で り に 置 で り に し の に ま 数 る で は ま の も の は に し に し の に ま の に ま の に ま の に ま の に ま の に ま の に ま の に ま の に ま の に も に と も に も に も に も に も に も に も に も に も に も に と に も に し に も に も に も に も に も に も に も に も に も に も に る に も に も に も に も に も に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に に に に に に に に に に に に に	置ほりないでやの、は。境も電いでは、は、は、の等に置いていません。の等に置いていません。の等に置いていません。では、は、のでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	判断理由: 対象区域がほぼ	置ほあ家進年鈍衛た表P民域がでやの、は。のきの上等ではり、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判斯理由:			
		今後の方向性					現状のまま継続												
	改善	性の判断理由 、改革の内容 、R8、R10)		より、年間設置表 が少なく、総合記 境の改善のために	・ 農村地域であり、 農材は域であしていま 要価は良好はととは言 要も含めた普及PR	る。そのため計画 えないが、市の水 と判断しているの	i値に対し実績値 ば質保全と生活環)で今後も業者と	R8 :				R10 :							